

かわ さき なお こ
川崎 直子 さん

大学院(博士課程)留学
(JASSO海外留学支援制度(大学院学位取得型))

- 2009年3月**
滋賀県立膳所高等学校 卒業
- 2010年4月**
信州大学 農学部 食料生産科学科 入学
- 2012年4月～7月**
マレーシア プトラマレーシア大学
農学部 交換留学
- 2014年3月**
信州大学 卒業
- 2014年4月**
京都大学 アジアアフリカ地域研究
研究科東南アジア地域研究専攻 入学
- 2014年7月～2015年2月**
インドネシア ポゴール農業大学
農業農村開発研究所 現地調査研究
のために派遣
- 2016年3月**
京都大学 アジアアフリカ地域研究
研究科東南アジア地域研究専攻 修
士号取得
- 2021年8月**
オランダ ワーヘニンゲン大学
Crop System Analysis 入学
【JASSO海外留学支援制度(大学院
学位取得型)】

卒業後

卒業後は、インドネシアで就労予定。



インドネシアにて(向かって一番右)

**世界の食料問題を
解決する研究者になる**

インドネシアの大豆増産を目指して

私は日本で修士号を取得した後に、インドネシアにて就職し、インドネシアの大豆開発プロジェクトを担っていました。インドネシアは大豆の消費量の90%以上を輸入大豆に依存しており、国産大豆の生産量を増やすことは困難を極めていました。そこで、今日、インドネシアで広く栽培されており、国内で自給自足されているトウモロコシ栽培に目をつけ、中国等で広く研究されているトウモロコシと大豆の間作をインドネシアで導入できないかと考えました。その研究を専門的に進めたいと考えたのが博士課程進学のかっけです。

世界一の農業大学へ

進学先はオランダのワーヘニンゲン大学を選択しました。それは農業分野で世界一位の大学であったこと、私が研究したい間作の研究を専門的に行っている有名な先生がいたことが主な理由です。私の場合、博士課程に進学しようと決意したのは2018年でしたが、実際に進学できたのは2021年なので、準備に3年間かかったこととなります。準備で最も大変だったことは英語ですが、仕事との両立や、そして私は子どもをその期間に2人出産していたこともあり、家庭との両立も私の中では大きな課題でした。



ワーヘニンゲン大学キャンパス内

世界の壁は高い

自分ができるようにならなければならない、求められているスキルが非常に高い、というのが授業やセミナー、データ分析、論文執筆、全てにおいて言えることです。私は修士と博士の専門性が異なるため、博士課程で初めて学ぶ内容も多く、それも大変でしたが、何をやるにしても、一流の研究者になるための世界の壁は非常に高い、と思います。

しかし、一つ一つ壁を乗り越えていくことの大変さとともにやりがいも感じます。時間はかかりますが、いつか私自身もハイレベルな研究者たちの仲間入りができるようになりたいです。

現場に行く研究者

私はまだ博士課程を修了していませんが、博士号取得後も、理想は研究者として論文を常に発表しながらも、その研究内容を実際に現場に還元していくというものです。企業、研究機関、大学、誰とでも協働しながら、世界の食料問題の解決のために、常に現場に足を降ろして精進していきたいです。

日本というルーツを誇りに

今回の博士課程留学を通して、改めて日本という国のこと、そして日本人である自分のことを見つめ直すこととなりました。そして、自分の出自に誇りを持つことができましたし、どんな国の人も仲良くできるようになった気がします。今後はより様々な国の方々と一緒に仕事をしていければと思います。

必ず道は開ける

もしもワーヘニンゲン大学に留学したい方、また海外で博士号を取得されたい方がいましたら、是非挑戦できるように私も応援いたします。道のりは険しく長いですが、一つ一つ乗り越えていけば、必ず目標に到達できます。お互いに頑張りましょう。



ワーヘニンゲンの街並み

私の英語勉強法

【IELTS 7.0取得まで2年間】

英語はIELTSを受験していましたが、獲得しなければならないスコアは7.0で、そのスコアに到達するまで実際に2年間要しました。リーディングは問題集で、リスニングはYouTubeを活用し、ライティングとスピーキングはオンライン英会話の教室を使用していました。毎日朝の3時～5時にこれら4技能の問題を一通りする、という習慣を付け、毎日コツコツと勉強していました。英語は急にできるようになる、というものではないため、コツコツ毎日続けることが重要だと思います。時間はかかりますが、どうか諦めずに頑張ってください。



ことう はるか
後藤 悠香 さん

大学学部留学/大学院(修士・博士課程)留学(JASSO海外留学支援制度(大学院学位取得型)/JASSO第二種奨学金(海外)/民間団体奨学金)

2014年3月 大阪府立千里高等学校 卒業
2015年9月 King's College London International Foundation Programme
2016年9月 King's College London BSc Business Management
2017年6月 University of Toronto Rotman School of Management
2019年6月 King's College London 卒業 BSc Business Management
2022年9月 LSHTM & King's College London MSc Global Mental Health
2023年9月 LSHTM & King's College London 卒業
University College London (UCL) 入学
MPhil/PhD Global Business for Health

帰国後

学部卒業後は民間・非営利・政府関係の仕事に携わる。2022年にイギリスに戻り、現在に至る。



卒業論文の授賞式で友人と

ロンドンで学んだ主体性と多様な価値軸

憧れと自信のなさがきっかけに

高校卒業後の進路として海外に目を向けるようになったのは、高校2年の夏休みに行ったフィンランドでの経験がきっかけです。ホストファミリーが連れて行ってくれたフィンランドの大学は、当時の自分がイメージしていた「講義を受ける場所」とはかけ離れており、そのオープンで明るい雰囲気に惹かれて海外の大学を目指すよう

になりました。ただ、最後の後押しになったのは自分への自信のなさだったかもしれません。海外大学に進学することで自分を誇れるような「何か」を手にはできると期待していたのではないかと、今振り返って思います。

自分の関心を深められる場所、イギリスへ

学びたいことがはっきりしていなかった高校2年生の私は、入学後に学部を選択できるアメリカのリベラルアーツ大学を志望していました。しかし、出願が完了した高校3年生の12月にCSR(企業の社会的責任)という取り組みに出会い「大学でこれを学びたい!」と進路の変更を決意。CSRの発祥地であるイギリスでCSRが学べるKing's College Londonを目指すようになりました。今私が所属しているNPO法人留学フェロシップという団体には情報収集やアプリケーション作成の面で非常に助けられました。

求められたのは学びを自ら掴みにいく姿勢



大学の図書館

イギリスの大学は特に自主性・主体性が求められる環境であると思います。アメリカやカナダの大学に比べて課題の量は少なく、授業参加への成績加点もほとんどないからです。ただ、求めれば与えられる学びや経験は膨大なため、自ら求めるものを吸収していく姿勢が大切です。その姿勢を強く実感したのは最終学年で取り組んだ卒論執筆です。テーマ設定から指導教諭の選択、

仮説設定や分析手法まで全て自ら組み立てる必要があります。かなり自由度の高いプロジェクトでした。3年間で培った自分で学びを掴みにいく姿勢がなければ、最後までやり切ることはできなかつたろうと思います。学問の内容だけでなく、学びに対する姿勢も含めて卒論執筆は大学生活の集大成と言え、とても思い出深い経験です。

「その道を選ぶ自分が好きかどうか」

自分の人生のテーマを問いつつ、短期間で民間、NPO、省庁を渡り歩き、2022年にアカデミアに戻ってきました。現在はイギリスの博士課程で経済政策の自殺予防効果を研究しています。自分のキャリア選択の軸は「その道を選ぶ自分が好きかどうか」。誇れる自分でいられるよう、今後も人生をデザインしていきたいです。

大事にしたい価値観・想いに素直に生きる

海外の大学に進学して多様な価値軸に触れることがなければ、こんなにキャリア転換の多い道を選べなかつたろうと思います。周りの人の価値軸だけでなく「自分が大事にしたい価値観・想いは何か」を考え、行動できるようになったのは大きな収穫でした。

想いを言語化することの大切さ

何を、何のために学びたいのか。留学する理由や想いを言葉にすることが大切だと思います。海外大学での生活は楽しいことばかりではありません。辛いと感じた気持ちを乗り越えるために、また、主体的に学びを掴み取るためにも「自分がそこで頑張りたい理由」を言語化しておくことは大きな支えになるだろうと思います。



インパクト投資部の仲間と

私の英語勉強法

「面白い!と思える文章に触れよう」

まずは中学や高校で使うグラマーの教科書の問題を繰り返し解くなどして文法や基本構文を暗記・理解することをお勧めします。そのあとはひたすら単語、コロケーションなどを覚えていくと思いますが、ここでお勧めなのが、自分の関心ある分野の文章に触れること。大学で読むのは専攻関連分野の論文・教科書なのでその予習になることはもちろん、自分の興味のある文章は少し難しくても楽しく読むことができますよ!

